様式第３号（裏面）

受講者氏名

求職者支援訓練等受講証明

⑮ 右のカレンダーに該当する印を付けてください。
(1)職業訓練が行われなかった日　＝印（取消線）
(2)職業訓練を一部のみ受けた日　△印
(3)職業訓練を受けなかった日　×印
※(2)に該当する日がある場合は下記⑯を記入してください。

月							
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

月							
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

⑯ 職業訓練を一部のみ受けた日について、右の時間割に該当する印を付けてください。

(1)出席した時限　○印
(2)欠席した時限　×印
(3)遅刻した時限　／印
(4)早退した時限　＼印
(5)訓練を実施していない時限　＝印（取消線）

月　日（　）						
時限	1	2	3	4	5	6

（上記の「月　日（　）／時限 1 2 3 4 5 6」の欄が計22箇所：⑯の右に2行×2列、その下に6行×3列）

⑰ 特記事項

⑱ ⑮欄から⑰欄までの記入者の職氏名

⑲ 上記の記載事実に誤りのないことを証明する。
令和　　年　　月　　日
（求職者支援訓練等の施設の長の職氏名）

※職員記入欄

	1日	0.5日	合計	出席日数／訓練日数（除外前訓練日数）	除外日数	出席率
欠席日数				／　（　）		%

職業訓練受講手当	円
通所手当	円
寄宿手当	円

所長		次長		統括					

（注　意　事　項）

1　証明内容は正しく記載してください。受講者が虚偽の証明によって職業訓練受講給付金を不正受給した場合、不正受給した受講者と連帯して不正受給した金額の返還と更にそれに加えて一定の金額の納付を命ぜられ、また、受給した認定職業訓練実施奨励金の返還を命ぜられることがあります。

2　⑮及び⑯欄については、⑨欄に記載した「支給申請の対象となる訓練期間」における受講状況を記載してください。

3　⑰欄には、職業訓練の出欠に関し、本人の申告などで特記すべき事項がある場合に記載してください。

4　⑱欄には、⑮欄から⑰欄までの受講者の出席状況等を記載した求職者支援訓練等の施設の担当者の職氏名を記載してください。

5　※印欄には、記載しないでください。